

副専攻名 都市デザイン副専攻

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

環境に配慮し、長期的に持続的成長が可能な都市・地域のための都市デザイン、地域活性化、まちづくり、交通マネジメントを行うことができる知識の習得を目的とする。人・モノ・情報が行き交う「生きた」システムである都市のデザインやマネジメントを行うためには、都市デザインの基礎理論と技法を体系的に学ぶとともに、人々の生活や様々な社会・経済活動、交通・コミュニケーションや都市経済などについて多面的に幅広く学ぶ必要があり、これらを学ぶためのカリキュラムが都市デザイン副専攻となっている。

副専攻の学習成果

- ・ 地域・都市・交通システムのメカニズムの理解
- ・ 地域・都市・交通システムの調査・分析方法の習得
- ・ 地域・都市・交通システムの計画・デザインの学習

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	前期		後期	
				第1クォーター	第2クォーター	第3クォーター	第4クォーター
35040	都市計画 (環境デザイン学類開講)	都市地域を対象とする諸科学の成果を踏まえながら、都市の歴史と将来、問題と課題、および、それらを解決するためのフィジカル・プランニングとしての都市計画における各分野の理論、手法、制度、実態などについて講義する。	3	○			
35217	都市計画 (地域創造学類開講)						
35041	交通計画 (環境デザイン学類開講)	1.道路交通問題とその対策法、ならびに道路交通の計画プロセスについて理解する。 2.段階的推定法などの交通需要推計の考え方、推計法およびそれらの問題点を修得する。 3.非集計モデルによる交通量推定法を修得する。 4.道路交通流や交差点設計の考え方を理解する。	3	○			
35218	交通計画 (地域創造学類開講)						
35073	計画プロセス	豊かな都市・地域空間の創造に向けて、社会基盤整備における計画プロセスの社会的合意、現況調査・分析と予測、代替案の作成、事業評価の手法について講述する。	2			○	
35042	景観デザイン学	建築物や都市施設等の計画・設計・デザインにおいて求められる景観的な配慮に関して、その必要性や、制度の現状、景観構成要素や色彩、景観評価手法、視覚的解析について学び、それらを計画・設計における様々な事例により理解を深める。また、コンピューターを利用した景観シミュレーションとその利用法についても事例を通じて学ぶ。	3	○			
35065	交通・運輸マネジメント工学	1. 線路の構造や駐車場の設計方法などについて理解する。 2. 列車の運転計画、列車の制御方法など、輸送計画の計画手法を理解する。 3. 諸外国の鉄道事情を理解する。	4	○			
35085	都市経済学A	1. 消費者行動および生産者行動の理論を理解する 2. 市場の価格メカニズムとともに、市場メカニズムの限界を理解する	3	○			
35086	都市経済学B	1. 都市への産業や人口の集積メカニズムを理解する 2. 都市の土地利用構造や土地価格の決定メカニズムを経済学的に理解する	3		○		

各科目の「学生の学習目標」を達成することにより、「副専攻の学習成果」に到達します。

「都市計画」及び「交通計画」について、環境デザイン学類及び地域創造学類のどちらの科目番号で履修登録しても、副専攻修了要件に含めることができず。ただし、同一科目の重複履修は認められません。